

交通関連企業景気動向調査（平成17年9月1日時点）結果

目的：交通関連企業における景況感、経営動向を把握する。

対象業種：貨物、旅客、その他全16業種

事業者数：調査対象1,452社、有効回答1,021社（有効回答率70.3%）

調査時点：平成17年9月1日現在

概要

～景況感、貨物・旅客ともに改善、貨物はプラスに転じる～
〔最近の景況感DI=-12.7、17年度下半期の景況感改善見通しDI=-17.9〕

- ・景況感DIは、前回の調査（平成17年3月1日）では4.9ポイント下降（DI=-15.6→-20.5）と14年3月調査以来の下降となったが、今回の調査では7.8ポイント上昇した（DI=-20.5→-12.7）。
- ・貨物・旅客とも改善（DI=-3.1→5.7、-49.5→-26.7）。貨物は前回のマイナスからプラスとなったが、旅客は引き続きマイナスとなった。
- ・業種別にみると、16業種中10業種ではDIが上昇し、6業種で下降となっている。
- ・DIがプラスとなった業種（5業種）： 外航海運、内航海運、倉庫、港湾運送、旅行業
DIがゼロとなった業種（1業種）： JR
DIがマイナスとなった業種（10業種）： フェリー、トラック、旅客船、民鉄旅客、バス、ハイヤー・タクシー、航空運送、登録ホテル、造船、自動車整備
- ・17年度下半期の景況感改善見通しDIは、-17.9となっており、貨物（DI=-7.4）、旅客（DI=-26.9）とも今後は悪化するとみている事業者が多い。

（注）1. DI＝「良い（改善）、人手不足、増加」と回答した事業者の割合
—「悪い（悪化）、人手過剰、減少」と回答した事業者の割合

2. 全体及び部門別（貨物部門、旅客部門、その他）DIについては、母集団の構成比率を踏まえた重み付けをしている。また、前回及び前年の結果についても同様に修正した。

調査結果

1. 景況感

(1) 調査時点（平成17年9月1日）の景況感DI=-12.7

交通関連業界の景況感DIは-12.7と、平成17年3月調査（以下前回調査）に引き続きマイナスとなったが、前回調査に比べマイナス幅は縮小している（DI=-20.5→-12.7）。有効回答事業者（以下「事業者」という。）数でみると、「良い」と感じている事業者は28.8%に対し、41.5%の事業者が「悪い」と感じており、「悪い」とみる事業者の方が多い。

貨物部門では、外航海運及び港湾運送が引き続きプラス、倉庫がゼロからプラス、内航海運がマイナスからプラス、フェリー及びトラックが引き続きマイナスとなった。その結果、マイナス2業種、プラス4業種となり、全体では前回のマイナスからプラスとなった。

旅客部門では、旅行業が引き続きプラス、JRがプラスからゼロとなったほかは、いずれの業種も引き続きマイナスとなっている。その結果、マイナス6業種、ゼロ1業種、プラス1業種となり、全体では引き続きマイナスとなった。

最近の景況感

部門・業種		良い	悪い	DI	前回調査との差	前回(17.3)DI	前年(16.9)DI
全体		28.8	41.5	-12.7	7.8	-20.5	-15.6
	貨物部門 (457)	34.6	28.9	5.7	8.8	-3.1	1.7
	旅客部門 (486)	25.0	51.7	-26.7	22.8	-49.5	-39.7
	その他 (78)	19.2	53.9	-34.6	-6.9	-27.7	-42.1
貨物	外航海運 (54)	55.6	9.3	46.3	7.4	38.9	51.9
	内航海運 (69)	30.4	29.0	1.4	3.3	-1.9	4.0
	フェリー (25)	0	92.0	-92.0	-25.4	-66.6	-20.0
	倉庫 (109)	35.8	28.4	7.4	7.4	0.0	-4.5
	港湾運送 (89)	44.9	24.7	20.2	10.7	9.5	17.4
	トラック (111)	25.2	36.9	-11.7	0.7	-12.4	-3.7
旅客	旅客船 (24)	4.2	66.7	-62.5	1.5	-64.0	-36.4
	JR (6)	16.7	16.7	0.0	-33.3	33.3	-16.7
	民鉄旅客 (94)	25.5	47.9	-22.4	17.6	-40.0	-43.3
	バス (91)	19.8	60.4	-40.6	31.8	-72.4	-69.0
	ハイヤー・タクシー (110)	28.2	49.1	-20.9	31.9	-52.8	-50.0
	航空運送 (41)	26.8	43.9	-17.1	-9.1	-8.0	-7.4
	登録ホテル (91)	25.3	54.9	-29.6	27.0	-56.6	-27.8
旅行業 (29)	41.4	37.9	3.5	-24.5	28.0	19.2	
その他	造船 (54)	22.2	53.7	-31.5	-6.5	-25.0	-43.8
	自動車整備 (24)	12.5	54.2	-41.7	-4.2	-37.5	-36.0

(注) 1. () 内は、有効回答事業者数

2. 前回(17.3)DIは、17年3月調査時点での「最近の景況感」
前年(16.9)DIは、16年9月調査時点での「最近の景況感」

(2) 17年度下半期の景況感改善見通しDI=-17.9

17年度下半期の景況感改善見通しDIは、-17.9となった。(1)で述べたとおり、景況感DIはマイナスとなっているが、今後も業況は悪化するとみている事業者が多い。

貨物部門では、港湾運送がプラスとなったほかは、いずれの業種もマイナスとなっている。その結果、(1)で述べたとおり景況感DIが再びプラスとなったものの、景況感改善見通しDIはマイナスとなっており、今後は業況が悪化するとみている事業者が多い。

旅客部門では、旅行業がプラスとなり、JRがゼロになったほかは、いずれの業種もマイナスとなっている。その結果、(1)で述べたとおり景況感DIはマイナスとなっただけでなく、景況感改善見通しDIもマイナスとなっており、今後も業況は悪化するとみている事業者が多い。

17年度下半期の景況感改善見通し

部門・業種		良くなる	悪くなる	DI
全体		20.7	38.6	-17.9
	貨物部門 (457)	24.3	31.7	-7.4
	旅客部門 (486)	18.0	44.8	-26.9
	その他 (78)	16.7	41.0	-24.4
貨物	外航海運 (54)	25.9	27.8	-1.9
	内航海運 (69)	21.7	34.8	-13.1
	フェリー (25)	4.0	76.0	-72.0
	倉庫 (109)	23.9	25.7	-1.8
	港湾運送 (89)	27.0	24.7	2.3
	トラック (111)	27.9	33.3	-5.4
旅客	旅客船 (24)	4.2	50.0	-45.8
	JR (6)	16.7	16.7	0.0
	民鉄旅客 (94)	11.7	48.9	-37.2
	バス (91)	8.8	60.4	-51.6
	ハイヤー・タクシー (110)	29.1	41.8	-12.7
	航空運送 (41)	12.2	36.6	-24.4
	登録ホテル (91)	22.0	38.5	-16.5
	旅行業 (29)	31.0	24.1	6.9
その他	造船 (54)	20.4	40.7	-20.3
	自動車整備 (24)	8.3	41.7	-33.4

2. 売上高

(1) 17年度上半期の16年度下半期対比売上高DI=-4.3(注1)

17年度上半期の16年度下半期に対する売上高DIは、-4.3と前回調査に引き続きマイナスとなったが、前回調査に比べマイナス幅は縮小している(DI=-9.2→-4.3)。

貨物部門では、外航海運が引き続きプラス、倉庫及び港湾運送がマイナスからプラス、内航海運及びトラックがプラスからマイナス、フェリーが引き続きマイナスとなっている。その結果、全体では引き続きプラスとなった。

旅客部門では、旅行業が引き続きプラス、民鉄旅客及び航空運送がマイナスからプラスとなったほかは、いずれの業種も引き続きマイナスとなっている。その結果、全体では引き続きマイナスとなった。

17年度上半期の売上高改善実績

部門・業種		改善	悪化	DI	前回調査との差	前回(17.3)DI	前年(16.9)DI
全体		33.5	37.8	-4.3	4.9	-9.2	-1.6
	貨物部門 (457)	35.5	32.4	3.1	-1.5	4.6	18.4
	旅客部門 (486)	33.1	43.0	-9.9	24.1	-34.0	-29.0
	その他 (78)	25.7	38.5	-12.8	-12.9	0.1	-36.3
貨物	外航海運 (54)	42.6	27.8	14.8	-26.9	41.7	48.1
	内航海運 (69)	21.7	34.8	-13.1	-33.4	20.3	-8.0
	フェリー (25)	32.0	52.0	-20.0	34.1	-54.1	0.0
	倉庫 (109)	42.2	24.8	17.4	20.1	-2.7	22.7
	港湾運送 (89)	40.4	31.5	8.9	20.0	-11.1	17.4
	トラック (111)	30.6	36.9	-6.3	-17.2	10.9	18.5
	旅客	旅客船 (24)	20.8	37.5	-16.7	35.3	-52.0
	JR (6)	16.7	33.3	-16.6	0.0	-16.6	16.7
	民鉄旅客 (94)	42.6	35.1	7.5	47.5	-40.0	-16.7
	バス (91)	26.4	49.5	-23.1	44.1	-67.2	-62.1
	ハイヤー・タクシー (110)	26.4	45.5	-19.1	-1.9	-17.2	-30.8
	航空運送 (41)	51.2	26.8	24.4	44.4	-20.0	0.0
	登録ホテル (91)	25.3	57.1	-31.8	2.2	-34.0	-33.3
	旅行業 (29)	58.6	20.7	37.9	29.9	8.0	69.2
その他	造船 (54)	33.3	29.6	3.7	-5.4	9.1	-37.5
	自動車整備 (24)	8.3	58.3	-50.0	-16.7	-33.3	-32.0

(注) 1. 季節変動要因を除いた実勢ベース

2. 前回(17.3)DIは、17年3月調査時点での「16年度下半期売上高が16年度上半期に対して改善(悪化)するかの見方」

3. 前年(16.9)DIは、16年9月調査時点での「16年度売上高が15年度に対して改善(悪化)するかの見方」

(2) 17年度下半期の17年度上半期対比売上高見通しDI=-7.2(注)

17年度下半期の17年度上半期に対する売上高見通しDIは、-7.2となった。(1)で述べたとおり、17年度上半期の16年度下半期に対する売上高DIはマイナスとなっているが、今後も売上高DIは悪化するとみている事業者が多い。

貨物部門では、フェリーがマイナスとなったほかは、いずれの業種もプラスとなっている。その結果、(1)で述べたとおり売上高DIはプラスとなっているが、売上高見通しDIもプラスとなっており、今後も売上高は改善するとみている事業者が多い。

旅客部門では、登録ホテルがプラスとなったほかは、いずれの業種もマイナスとなっている。その結果、(1)で述べたとおり売上高DIはマイナスとなっているが、売上高見通しDIもマイナスとなっており、今後も売上高は悪化するとみている事業者が多い。

17年度下半期の売上高改善見通し

部門・業種		改善	悪化	DI
全体		28.0	35.3	-7.2
	貨物部門 (457)	32.4	26.9	5.5
	旅客部門 (486)	24.4	43.2	-18.8
	その他 (78)	25.7	35.9	-10.3
貨物	外航海運 (54)	37.0	27.8	9.2
	内航海運 (69)	40.6	18.8	21.8
	フェリー (25)	8.0	56.0	-48.0
	倉庫 (109)	31.2	25.7	5.5
	港湾運送 (89)	33.7	24.7	9.0
	トラック (111)	30.6	27.9	2.7
旅客	旅客船 (24)	20.8	29.2	-8.4
	JR (6)	0.0	33.3	-33.3
	民鉄旅客 (94)	13.8	47.9	-34.1
	バス (91)	12.1	67.0	-54.9
	ハイヤー・タクシー (110)	32.7	34.5	-1.8
	航空運送 (41)	26.8	34.1	-7.3
	登録ホテル (91)	35.2	31.9	3.3
その他	旅行業 (29)	34.5	44.8	-10.3
	造船 (54)	29.6	29.6	0.0
	自動車整備 (24)	16.7	50.0	-33.3

(注) 季節変動要因を除いた実勢ベース

3. 経常収支

(1) 17年度上半期の16年度下半期対比経常収支DI=-9.7(注)

17年度上半期の16年度下半期に対する経常収支DIは、-9.7と、前回調査に引き続きマイナスとなったが、前回調査に比べマイナス幅は縮小している(DI=-15.8→-9.7)。

貨物部門では、外航海運が引き続きプラス、倉庫及び港湾運送がマイナスからプラス、内航海運がプラスからマイナス、トラックがゼロからマイナス、フェリーが引き続きマイナスとなっている。その結果、全体では引き続きマイナスとなった。

旅客部門では、旅行業が引き続きプラス、JRがゼロからプラス、旅客船、民鉄旅客及び航空運送がマイナスからプラスとなったほかは、いずれの業種も引き続きマイナスとなっている。その結果、全体では引き続きマイナスとなった。

17年度上半期の経常収支改善実績

部門・業種		改善	悪化	DI	前回調査との差	前回(17.3)DI
全体		31.6	41.3	-9.7	6.1	-15.8
	貨物部門 (457)	34.1	38.3	-4.2	3.5	-7.7
	旅客部門 (486)	31.4	43.6	-12.2	18.8	-31.0
	その他 (78)	19.2	46.2	-26.9	-21.5	-5.4
貨物	外航海運 (54)	42.6	40.7	1.9	-25.9	27.8
	内航海運 (69)	17.4	52.2	-34.8	-42.2	7.4
	フェリー (25)	20.0	68.0	-48.0	-6.4	-41.6
	倉庫 (109)	45.0	27.5	17.5	39.4	-21.9
	港湾運送 (89)	34.8	31.5	3.3	16.0	-12.7
	トラック (111)	32.4	37.8	-5.4	-5.4	0.0
旅客	旅客船 (24)	37.5	33.3	4.2	28.2	-24.0
	JR (6)	33.3	16.7	16.6	16.6	0.0
	民鉄旅客 (94)	46.8	36.2	10.6	59.0	-48.4
	バス (91)	24.2	54.9	-30.7	33.1	-63.8
	ハイヤー・タクシー (110)	20.9	46.4	-25.5	-18.4	-7.1
	航空運送 (41)	36.6	31.7	4.9	12.9	-8.0
	登録ホテル (91)	23.1	51.6	-28.5	9.2	-37.7
旅行業 (29)	55.2	24.1	31.1	11.1	20.0	
その他	造船 (54)	25.9	44.4	-18.5	-23.0	4.5
	自動車整備 (24)	4.2	50.0	-45.8	-4.1	-41.7

(注) 季節変動要因を除いた実勢ベース

(2) 17年度下半期の17年度上半期対比経常収支見通しDI=-15.3(注)

17年度下半期の17年度上半期に対する経常収支見通しDIは、-15.3となった。

(1)で述べたとおり、17年度上半期の16年度下半期に対する経常収支DIはマイナスとなっているが、今後も経常収支が悪化するとみている事業者が多い。

貨物部門では、港湾運送がプラスとなったほかは、いずれの業種もマイナスとなっている。その結果、(1)で述べたとおり経常収支DIはマイナスとなっているが、経常収支見通しDIもマイナスとなっており、今後も経常収支見通しDIは悪化するとみている事業者が多い。

旅客部門では、登録ホテルがプラスとなったほかは、いずれの業種もマイナスとなっている。(1)で述べたとおり経常収支DIはマイナスとなっているが、今後も経常収支は悪化するとみている事業者が多い。

17年度下半期の経常収支改善見通し

部門・業種		改善	悪化	DI
全体		24.9	40.2	-15.3
	貨物部門 (457)	28.5	35.0	-6.6
	旅客部門 (486)	22.3	44.8	-22.5
	その他 (78)	20.5	42.3	-21.8
貨物	外航海運 (54)	29.6	37.0	-7.4
	内航海運 (69)	27.5	37.7	-10.2
	フェリー (25)	8.0	88.0	-80.0
	倉庫 (109)	27.5	33.0	-5.5
	港湾運送 (89)	33.7	24.7	9.0
	トラック (111)	29.7	30.6	-0.9
	旅客	旅客船 (24)	12.5	37.5
JR (6)		0.0	33.3	-33.3
民鉄旅客 (94)		19.1	50.0	-30.9
バス (91)		11.0	65.9	-54.9
ハイヤー・タクシー (110)		22.7	35.5	-12.8
航空運送 (41)		22.0	48.8	-26.8
登録ホテル (91)		35.2	29.7	5.5
旅行業 (29)		37.9	44.8	-6.9
その他	造船 (54)	22.2	42.6	-20.4
	自動車整備 (24)	16.7	41.7	-25.0

(注) 季節変動要因を除いた実勢ベース

4. 雇用状況

人手不足感DI=37.9

調査時点の人手不足感DIは、37.9と、前回調査に引き続きプラスとなり、前回調査に比べプラス幅がやや拡大している(35.7→37.9)。

貨物部門はフェリーを除く全ての業種で、旅客部門はJRを除く全ての業種で人手不足と感じている。その結果、貨物・旅客とも、引き続き全体ではプラスとなった。

人手不足感

部門・業種		不足	過剰	DI	前回調査との差	前回(17.3)DI	前年(16.9)DI
全体		45.5	7.6	37.9	2.2	35.7	22.4
	貨物部門 (457)	33.5	9.2	24.3	-3.7	28.0	17.1
	旅客部門 (486)	58.5	4.6	53.9	4.4	49.5	33.6
	その他 (78)	35.9	16.7	19.2	-13.9	33.1	-0.9
貨物	外航海運 (54)	37.0	3.7	33.3	5.5	27.8	37.0
	内航海運 (69)	30.4	5.8	24.6	-12.4	37.0	28.0
	フェリー (25)	8.0	12.0	-4.0	-12.4	8.4	-12.0
	倉庫 (109)	32.1	10.1	22.0	9.6	12.4	9.1
	港湾運送 (89)	34.8	7.9	26.9	-0.1	27.0	17.4
	トラック (111)	39.6	13.5	26.1	-15.0	41.1	22.2
旅客	旅客船 (24)	33.3	4.2	29.1	9.1	20.0	-4.5
	JR (6)	0.0	16.7	-16.7	16.6	-33.3	-33.3
	民鉄旅客 (94)	38.3	5.3	33.0	18.0	15.0	-13.3
	バス (91)	62.6	6.6	56.0	-2.7	58.7	37.9
	ハイヤー・タクシー (110)	91.8	3.6	88.2	-4.6	92.8	80.8
	航空運送 (41)	53.7	2.4	51.3	23.3	28.0	37.0
	登録ホテル (91)	47.3	3.3	44.0	10.1	33.9	22.2
旅行業 (29)	55.2	3.4	51.8	-0.2	52.0	42.3	
その他	造船 (54)	44.4	16.7	27.7	-15.5	43.2	0.0
	自動車整備 (24)	16.7	16.7	0.0	4.2	-4.2	-4.0

(注) 1. 前回(17.3)DIは、17年3月調査時点の「人手不足感」

2. 前年(16.9)DIは、16年9月調査時点の「人手不足感」



